

『学力向上推進宣言』作成に当たって

知識基盤社会やグローバル化の進展に伴う変化の激しい社会の中、子どもたち一人一人に確かな学力や人との関係作りの基盤となるコミュニケーション能力など、社会で生きていくための基礎的・基本的な資質・能力を身につけさせることが、義務教育に携わる者の責務であります。

根室管内における学力の状況は、全国学力・学習状況調査の過去5年間の状況を見ると、各学校の実態に応じ、校内研修による指導案検討・授業公開・授業検証などの活性化、チーム・ティーチングによる個に応じた指導の工夫、放課後及び長期休業中における学習サポートなどにより、徐々にではあるが、成果を上げつつあります。

しかしながら、過去5年間連続して全国はもとより、全道平均をも下回る結果となっており、義務教育段階で確実に身につけておくべき内容が十分に達成されていない状況が明白になってきております。

さらに、管内の多くの高等学校において、義務教育段階で身に付けておくべき内容を復習する『学び直しの授業』が行われていたり、就職先の雇用主から「商品の値段の計算ができない。」「基本的な挨拶や人間関係を構築できない。」など、義務教育段階の基礎・基本を確実に身につけて欲しいとの指摘が多く聞かれます。

また、4月1日付で、根室管内市町教育委員会連合会・根室管内市町教育委員会連合会教育長部会の連名で、『将来の根室を担う子どもたちのために』との表題で、教職員向けのメッセージが出されました。

この様な状況を根室管内・小中学校長会として真摯に受け止め、子どもたちが夢や希望に向かって、自らの能力を最大限に発揮し、自己実現を図ることが出来るよう、学校経営の最重点に人間力の向上と併せて、学力向上と教員の指導力向上を掲げ、『オール根室』として、別紙の取り組みを管内一体となって進めてまいりたい。

今こそ、将来の根室を担う子どもたちの確かな成長のために、各市町の校長会が一体となり、各学校の実態に応じた実効性のある取り組みを力強く進めることをここに確認するため、『学力推進宣言』を作成しました。

平成24年4月

根室管内小・中学校長会

学力向上推進宣言

「オール根室」で生きる力の向上を

『すべては根室の子どもたちのために』

~いつまでも瞳を輝かせ、明るい未来を切り拓く子どもたちのために、
私たちは、次のことを目指します。~

学力の向上

【オール北海道として】

指導の重点や具体的な目標を定め、学校が一体となって学力向上に取り組む

すべての取組の結果として、全国平均を目指す

【オール根室として】

- ・P D C Aサイクルに基づく教育課程の改善充実
- ・進行管理を位置付けた学校改善プランの改善

学 校

【指導方法、指導体制の工夫】

- ・チーム・ティーチングの拡大・充実
- ・習熟の程度に応じた指導の徹底
- ・個別・集団指導方法の工夫
- ・小・中学校間の連携による工夫 など

【教員の資質能力の向上】

- ・仮説検証型の校内研修による授業力の向上
- ・小・中学校間の連携による研修の機会の充実 など

道徳性の向上

体力の向上

連携

- ・望ましい生活習慣の確立

- ・地域ネットワークの構築

- ・家庭学習の習慣化

家庭・地域

学校を中心にして、家庭・地域と手を取り合って

今こそ、将来の根室を担う子どもたちの確かな成長のために、各市町の校長会が一体となり、各学校の実態に応じた実効性のある取組を力強く進めるここをここに確認します。

平成 24 年 4 月

根室管内小・中学校長会